

# ゆふいんだより

第108号

発行/平成23年10月

湯布院厚生年金病院  
「ゆふいんだより」事務局

郵便番号 879-5193  
大分県由布市湯布院町川南252  
TEL.0977(84)3171  
FAX.0977(84)3969  
<http://www.yufuin-hp.com>  
E-mail:hs.yufuin@kjp.or.jp



湯布院盆地は心地よい秋風が吹き渡り、由布岳は四季のうちで一番美しい秋の装いに衣換えをしています。そして秋の7草のひとつの「なでしこ」もことのほか元気に咲いているように映ります。

この夏のサッカーの第6回女子ワールドカップドイツ大会で「なでしこジャパン」が初優勝した感動はまだ鮮明に残っておられるのではないのでしょうか。

古来「やまとなでしこ」は清楚で奥ゆかしく、か弱そうに見えるが心の強さはなみなみならないものがあると言われていますが、その由来どおりの戦いぶりでした。最後まであきらめない気持ち、粘り強い守備、そしてリズムカルなパス攻撃が一気に大輪の花を咲かせました。試合終了後勝因について選手からのコメントは「日本が苦しい状態でしたが復興へ向けて立ち上がった人たちをみてパワーを

もらった。それが日本を勝利に導いた」と話されたのを聴き、この日本が厳しい時、選手と応援の両者が同じ絵を描き、それがパワーになり、私たち国民に大きな喜びをもたらしてくれたと感謝せずにはいられませんでした。ここにいたるまで女子サッカーは30年の歴史を乗り越えて、たゆまない努力を重ねてきたことの成果と推察します。2012年のロンドン五輪に是非出場して日本にまた大きな力をもたらしていただきたいと心から願います。当院も来年は創立50年を迎えることができますが、これもひとえに、応援をくださった皆様方と先輩諸氏のおかげです。感謝すると共に、よりよい地域医療の実践に向けて皆様方と共に歩んでいきたいと思っていますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

看護部長 加藤 ふみ子



## リレーエッセイ ⑨

# 日本人初のスイス・アマチュア

宮崎 吉孝

私は多趣味なのですが、どれもこれも中途半端です。何を書こうかと悩みましたが、唯一自慢できることがありました。

実は、私はスイス連邦のアマチュア無線局免許を取得した初めての日本人なのです。

私のアマチュア無線歴は、27歳の時に東京で電話級の試験を受けてJK6RWMを開局したことに始まります。その後熱中のあまり、第1級アマチュア無線技士(1アマ)まで取りました。当時の1アマ試験はかなりの難関で苦労しました。

アメリカの免許にもチャレンジしました。東大でアメリカの試験が行われた時にNovice級、Technician級、General級、Advanced級まで合格し、KD3ZXという免許をもらいました。

その後、ジュネーブ大学に留学しましたが、当然、スイスでも開局したいと思いました。しかし、当時、スイスは日本人への免許交付はおろか、受験さえも門前払いでした。フランスやドイツであれば、日本と相互協定があるので簡単に開局できるのですが、スイスは頑なでした。スイスからオンエアできる方策を考えた結果、イギリスの免許を取るのが有効と考えました。

イギリスはスイスと相互協定を締結しており、公用語が英語で、日本人の受験可能でした。ロンドン在住の日本人の方々のご協力を頂いて、上級の試験に合格してG0RJWをもらいました。イギリス免許は絶大で、全世界のイギリス連邦、アメリカ、ヨーロッパで無線を行う権利ができました。私はイギリスの移動局HB9/G0RJWとして、スイス国内から電波を出せるようになりました。しかし、ホンモノのスイス免許を得たいという思いは消えませんでした。

スイス当局に交渉したところ、もしスイス人が日本で受験できるという証明があれば、相互主義に基づいて受験を認めてやっても良いという言葉を得ました。そこで代議士を介して当時の郵政省に相談したところ、課長さんがスイス人の受験を認める旨の文書を書いてくれました。

それをスイス当局に提出したのですが、課長ではダメだ、郵政大臣が大使・領事でなければ署名が本物かどうか判断できないと言われ、夢は絶たれました。

しかし、ジュネーブは外交官の多い所でラッキーでした。近所の書記官に相談したところ、それは総領事に頼んであげようと言ってくれて、総領事がスイス政府宛の正式文書を作ってくれました。それでようやく私の受験が認められ、ヘルンまで行きました。しかし、ライン川の船舶無線やスイス国鉄無線に関する出題があり、おまけにフランス語でさっぱりでした。それでも山勘で10問中6問はできたのですが不合格。あと1点で合格でしたが、ダメだと言われました。諦めていたところ、ジュネーブ州当局から電話があり、スイスとアメリカの間で相互協定が結ばれた、おまえはアメリカのExtra級があるから無試験でスイス免許が交付されると伝えてくれました。それでスイス免許HB9IARが交付されました。

私はスイスに渡ってすぐのころ、ドイツのアメリカ空軍基地に行ってアメリカ最上級のExtra級を受けて合格し、AA3ASのコールサインとアメリカの試験官資格を得ていたのです。アメリカExtra級ライセンスは難関試験でしたが役に立ちました。

この経緯は日本の「CQ ham radio」誌の記事になりました。その後何人もの日本人がHB9の免許を得ているようです。

さて、最近ではインターネット、携帯電話による超高速、大容量通信が普及し、私の仲間もほとんどが「停波局」ですが、東日本大震災ではアマチュア無線が見直されました。アマチュア無線機さえあれば、インフラが全滅しても世界中に電波を飛ばすことができます。ローテクでアナログなものほど強いと思います。

レトロな趣味ですが、特に登山や船舶をされる方にはお勧めします。

次は村上 仁先生をお願いします。